

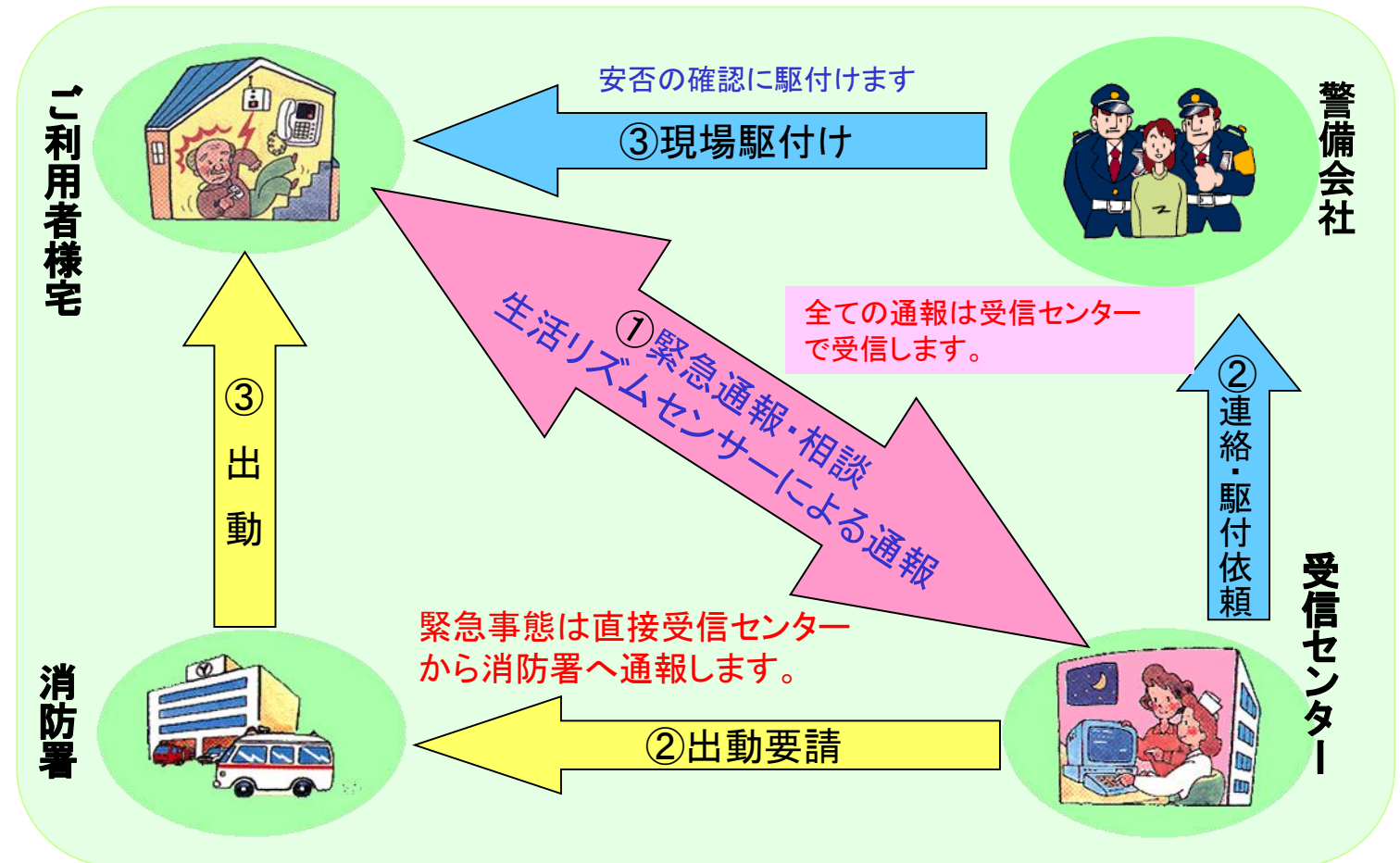
緊急通報システム（生活リズムセンサー型）のしくみ

1. 緊急通報の流れ

- ① 緊急通報装置の緊急ボタンを押すか又は生活リズムセンサーによる異常検知により受信センターに通報されます。受信センターより「どうなさいましたか？」と呼びかけますので状況をお話下さい。
- ② 状況に応じて、消防署などに連絡します。
※誤って押した場合も、返事をしてください。応答がない場合は警備員が安否の確認に駆けつけます。
- ③ 受信センターの通報、連絡により緊急車両又は警備員が利用者様のお宅に向います。

2. 健康・医療相談

24時間365日健康・医療相談が受けられます。緊急通報装置の相談ボタンを押してください。看護師・相談員がお受けします。



民間緊急通報システム(生活リズムセンサー型)って、どんなもの？

● どんな装置を取り付けるの？



大きな非常ボタンが付いた装置(写真左)と無線式のペンダント型送信機(写真真ん中)を取り付けます。

また、生活リズムセンサー(写真右)を壁等にネジ止めをして設置します。

● 生活リズムセンサーとは？

利用者様のご自宅での活動を検知し、検知した活動量が一定量に満たない場合に限り、異常と判断して、特定の時刻に通報します。

利用者様の在宅・外出は、鍵ホルダーが自宅にあるかどうかで判断します。

※ペースメーカーをご使用の方へ

上記、小電力ペンダントの送信電波(周波数:426.450MHz)がペースメーカーなどに与える影響は極めて少ないものですが、安全管理のため10cm以上離してご使用ください。

● ボタンを押したらどうなるの？

緊急ボタン

受信センターにつながり、言葉が出ない時も誰から通報が来たのか分かる仕組みです。消防署への連絡も万全です。

相談ボタン

受信センターには看護師がいつも待機しているので、健康・医療の相談ができます。困ったことがあった時などご利用ください。

● 間違えて押したらどうなるの？

うっかり間違えて、または気付かずにボタンを押してしまうことがあるかと思いますが、全ての通報は受信センターで受けますので心配はいりません。装置のテストにもなりますので、安心してご利用ください。